

市民解説員が案内する市内探訪 紅葉の巡礼道を訪ねて

～ご参加の皆さまへ お願い～

- ・市内探訪では、集合から解散まで統一行動となっています。
- ・歩行中は一列又は二列で歩き、道路横断時などは交通安全に十分気を付けていただき、急坂、石段などでは足元にご注意ください。
- ・果樹や野菜、植物などを採取しないでください。
- ・地元の方々のご理解・ご協力をいただき、神社や寺院などに伺いますので、失礼のないようにお願いします。
- ・ゴミは、各自お持ち帰りください。
- ・記録写真を撮る場合がありますので、ご了承ください。

ご挨拶

私たち市民解説員は、ふるさと”あきる野”を愛し、地域の自然・歴史・文化の再発見に努めるとともに、これらを市民の皆さまに紹介し、まちづくりと生涯学習の推進を図る学習ボランティアです。

あきる野市は、自然や遺跡、文化財の宝庫です。

この美しく恵まれた環境のもとで、地域の皆さまと一緒に学びあい、活動できることをうれしく思っています。

今後ともよろしく願いいたします。



五柱神社（社殿と大杉）

令和3年11月26日（金）

あきる野市中央公民館

◆武蔵五日市駅行きバスのご案内

	発車時刻		運賃
瀬音の湯発		13:35	330円
十里木発	12:40 13:08	13:39	290円

（瀬音の湯から十里木バス停までは石舟橋経由で徒歩約10分）

担当市民解説員：坂野 紀世子・浅葉 三男・内田 廉平

①西青木平橋 乙津1046番地
秋川に架かる人道橋で、竣工は平成4年3月。あきる野市内では最上流に架かる橋で、橋のたもとの階段で溪谷に降りることができる。
また、芽吹きや新緑、紅葉、雪景色など溪谷を彩る四季の変化を楽しめる。

②福祐山 陽谷院（臨済宗 建長寺派） 乙津999番地
創立：室町末期の天正15年(1587)と伝えられる
開山：光厳寺28世天叟宗祐禅師（天正15年寂）と伝えられる
本尊：馬頭観世音菩薩（「小宮村誌」）
薬師如来（「五日市町史」）
阿弥陀如来立像（「新編武蔵風土記稿」）
・現在は無住であり、乙津・龍珠院が管掌。

③熊野神社 乙津1002番地
祭神：伊耶那岐神 伊耶那美神
由緒：嘉吉元年(1441)の熊野本宮を勧請
天正18年(1590)10月社殿焼失、旧書物・宝物を焼失
翌天正19年再建、宝暦11年(1761)新築重修
明治2年(1869)熊野大権現から現社号に改称、明治6年村社となる
明治35年(1902)拝殿、覆舎を建築

④八坂神社
由緒、来歴については不詳。社殿脇に「奉納熊野宮」の石燈籠あり。また、社殿内の寄付者芳名板には「八雲大神(ヤクモカミ)」との記述がある。
あきる野市内の八坂神社・八雲神社は牛頭天王(ゴズテンノウ)を勧請し、天王社として創建されており、神仏習合により素戔嗚尊(スサノヲノミコト)も祭神とされた。
明治維新の神仏分離により天王社は八坂神社・八雲神社に改称している。

⑤天照山 龍珠院（臨済宗 建長寺派） 乙津1422番地
創建：正平18年（貞治2年）(1363)
開基：竜珠軒
開山：光厳寺10世日峰朝禅師（日峯）
本尊：観世音菩薩（「無漏西游」）
如意輪観音（「五日市町史」）
・現在の本堂（51坪）は江戸中期頃の建築。
・慶安2年(1649)以降、徳川幕府の御朱印寺（9石8斗）であったことから三葉葵の寺紋の使用が許された。
・春は桜や三つ葉つつじ、秋には紅葉が見事である。
・本堂裏手には廻国巡拝塔などの石造物がある。



⑥神明社 乙津1401番地
祭神：社伝によれば天照大神（アマテラスオホカミ）
由緒：創立年代は不詳
・古老の口伝によれば、古くは神明皇大神と称し、明治2年に社号を改称したという。

⑦五柱神社 養沢1392番地
祭神：久々能智命（ククチノミコト；木の神様）
加具土命（カグツチノミコト；火の神様）
埴安姫命（ハニヤヒメノミコト；土の神様）
金山毘古命（カヤマヒコノミコト；鑄造・製鉄の神様）
彌都波比売命（ミツハヒメノミコト；水の神様）
由緒：元龜・天正(1570～1592)の頃から崇拝が厚く、当時の社殿は現在の境内くらい規模であったとのこと
その後荒廃したため、寛政期(1789～1801)に現在の社殿に改築
・境内の大杉は市の天然記念物で、樹齢400年前後、樹高52m、幹囲8mで都内一とも。燈籠は養沢の小沢七右衛門の寄進（弘化4年(1847)）。

⑧龍化山 徳雲院（臨済宗 建長寺派） 乙津511番地
創建：開創の事績は一切不明。天文(1532～1555)中期頃の開創と推定
当院12世加藤耕山の時代まで無住の時が多く来歴不詳
開山：光厳寺21世雲英台禅師
本尊：薬師如来
・境内入り口には巡拝塔などの石造物が立並び、境内地には歌人・三ヶ島菫子の歌碑が立つ。
・境内際を流れる養沢川には6月ころからゲンジボタルが舞い、幻想的な光を放つ。
・坐禅堂（32坪）は昭和41年建立。



⑨大戸里神社 乙津294番地
祭神：天日鷲命（アマヒノリノミコト）
天穂日命（アマホヒノミコト）
由緒：創建年代は不詳。もと鷲宮大明神と称し、俗称は「おとり様」
明徳3年(1392)、天穂日命を合祀して修築。永禄5年(1562)、八王子城主北条氏照が祈願のため石燈籠を奉納（現在は無い）
享保20年(1735)、社殿を焼失し、延享元年(1744)に再建し、明治42年に現在の社殿に改築した

⑩瀬音の湯 乙津565番地
設立：平成18年7月（平成19年4月開業）
泉質：アルカリ性単純湯（ph10.1）
湯量：149ℓ/分（約27℃の源泉を加熱）
効能：神経痛、筋肉痛、関節のこわばり、疲労回復等
湯場：内湯、露天風呂、サウナ、足湯
施設：宿泊コテージ10棟、食堂、物産販売店
・ネット投票で順位を競う『温泉総選挙』の「うる肌部門」で2019年、2020年と2年連続で全国1位を獲得。

参考文献

五日市町史 小宮村誌 新編武蔵風土記稿 無漏西游 五日市町の古道と地名
日本の神様読み解き事典 西多摩神社誌 瀬音の湯公式HP ほか